

TAMRON

Focus on the Future

2025年12月期 第1四半期 決算説明

2025年5月2日（金）

株式会社タムロン（証券コード：7740）



I. 2025年第1四半期実績

1. 2025年第1四半期総括
2. 2025年第1四半期実績
3. 営業利益変動要因
4. 2025年第1四半期セグメント別実績
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

II. 2025年通期計画

1. 米国関税措置による影響
2. 2025年通期計画
3. 2025年セグメント別通期計画
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

III. 参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

I .2025年第 1 四半期実績



I - 1 . 2025年第1四半期総括

経営環境

経済環境

- ◆ 地政学的リスク継続や米国新政権の政策不透明感等により、海外経済に減速感の広がり
- ◆ 対USDは円安となるも、対EURは円高へ
- ◆ 物価高等により部材コストアップ、人件費上昇傾向が継続

市場環境

- ◆ レンズ交換式カメラ市場、交換レンズ市場はミラーレスカメラが堅調に推移し、数量・金額ベースともに成長
- ◆ 監視市場は在庫調整局面から安定成長化
- ◆ 車載市場は、ADAS進展により成長が継続

当社業績

- ◆ 売上高は微減収
 - 写真自社ブランドにおける減収：米州における販売不調継続、中国における24年1Qの高成長からの反動減
 - TV会議における減収：市場の低迷継続、24年1Qの一時的な所要増からの反動減
 - 監視や車載分野における増収：監視は在庫調整の解消による大幅増、車載の好調も継続
- ◆ 粗利益は増益：コストダウン・生産性向上により、減収による粗利減をカバー
- ◆ 営業利益は減益：R & D強化、人件費上昇等による販管費増により減益

トピック

- ◆ 1月：ベトナム第2工場が本格稼働開始
- ◆ 2月：株主還元の充実、資本効率向上および機動的な資本政策を目的とし、**40億円の自己株式取得を実施**
7月を効力発生日とした**1：4の株式分割を発表**
- ◆ 4月：**RFマウント、Zマウント対応としては当社初の高倍率ズームレンズ**を同時開発発表（Model:B061、2025年夏頃発売予定）

I - 2 . 2025年 第1 四半期実績

- ◆ 車載や医療のモビリティ&ヘルスケア、その他事業が増収も、写真関連の自社ブランドや監視&FA関連のTV会議の反動減影響もあり微減収
- ◆ 部材コストアップ抑制、原価低減等により減収による粗利減を吸収し、**粗利率は+1ptの向上**
- ◆ 昇給等での人件費アップや今後の事業拡大を見据えた研究開発費の増加による販管費増にて営業減益となるも、**営業利益率は約22%の高水準維持**

(単位：百万円)	24年 1Q実績	25年 1Q実績	増減（対前年）	
			額	率
売上高	19,819	19,451	△367	△1.9%
粗利益	8,882	8,910	+28	+0.3%
粗利益率	44.8%	45.8%	+1.0%	-
営業利益	4,547	4,235	△312	△6.9%
営業利益率	22.9%	21.8%	△1.1%	-
経常利益	4,598	4,238	△360	△7.8%
経常利益率	23.2%	21.8%	△1.4%	-
四半期純利益	3,344	2,841	△503	△15.1%
四半期純利益率	16.9%	14.6%	△2.3%	-
ドル	148.63	152.57	+3.94	-
ユーロ	161.38	160.61	△0.77	-

I - 3 . 営業利益変動要因

売上減による粗利減をコストダウン等の原価低減推進によりカバーも、販管費増分が利益減

(単位：百万円)



I - 4 . 2025年第1四半期セグメント別実績

① 写真関連事業

- ◆ 自社ブランドは日本・欧州はプラスも、米州での販売不振、24年1Qが特に高成長局面であった中国市場での反動減等もあり減収
- ◆ OEMは市場成長が昨年度より緩やかな状況のなか、**昨年の好調時における売上を維持**
- ◆ コストダウン・生産性向上により**利益率は昨年と同等レベルを維持**

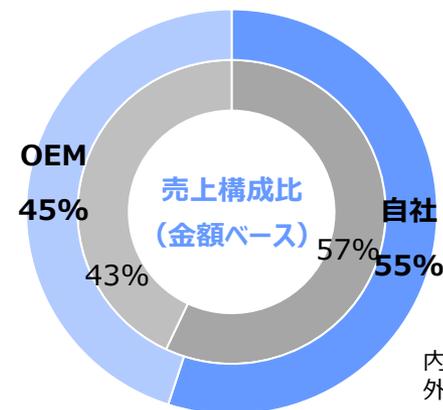
	24年 1Q実績	25年 1Q実績	増減 (対前年)		為替影響 額
			額	率	
(単位: 百万円)					
売上高	13,944	13,569	△375	△2.7%	+2.7億円
営業利益	4,019	3,803	△215	△5.4%	△0.8億円
営業利益率	28.8%	28.0%	△0.8%	-	-

売上高内訳

		24年 1Q実績	25年 1Q実績	増減 (対前年)	
				額	率
金額 (億円)	自社	79	74	△5	△6.9%
	OEM	60	62	+2	+2.9%
数量 (万台)	自社	11	10	△1	△3.1%
	OEM	19	18	△1	△6.8%

25年1Q 市場状況 (対24年1Q)

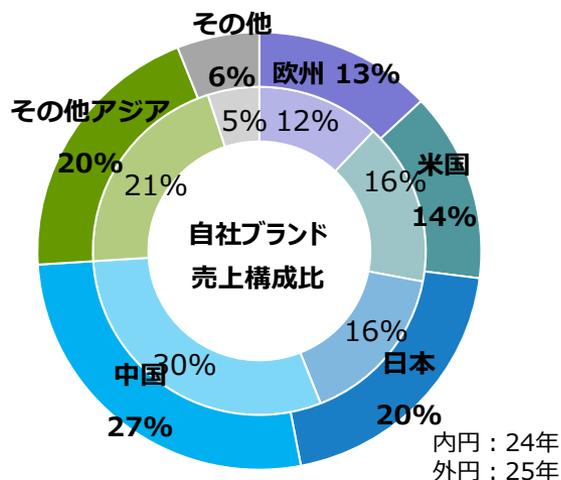
	数量	金額
一眼レフ	▲11%	▲17%
ミラーレス	+13%	+8%
レンズ交換式カメラ計	+9%	+6%
交換レンズ	+5%	+4%



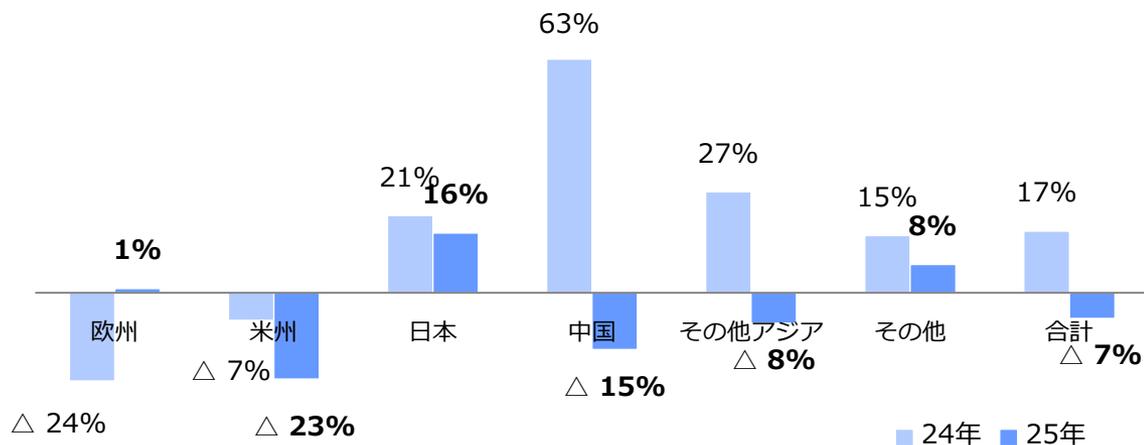
I - 4 . 2025年第1四半期セグメント別実績

① 写真関連事業（自社ブランド）

拠点別売上構成比（1月～3月）
（金額ベース）



拠点別売上増減率(対前年同期・円換算ベース)



交換レンズ市場 地域構成比（1月～3月）
（金額ベース）

	24年	25年
欧州	21%	20%
米州	22%	28%
日本	10%	10%
中国	26%	20%
その他アジア	16%	16%
その他	5%	6%
合計	100%	100%

交換レンズ市場 地域別売上増減率
（金額ベース・対前年）

	24年	25年
欧州	▲4%	+3%
米州	+11%	+30%
日本	+7%	+8%
中国	+82%	▲23%
その他アジア	+27%	+2%
その他	+28%	+28%
合計	+23%	+4%

I - 4 . 2025年第1四半期セグメント別実績

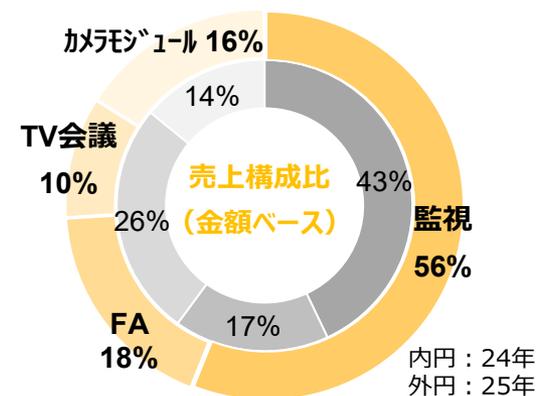
② 監視 & FA 関連事業

- ◆ 監視/FA分野のレンズやモジュールは好調。特に監視は在庫調整の影響が落ち着きをみせ、**約1.3倍の増収**
- ◆ TV会議は市場低迷や24年1Qでの一時的な出荷増による反動もあり大幅減収
- ◆ コストダウン・生産性向上により**利益率は昨年と同等レベルを維持**

(単位：百万円)	24年	25年	増減 (対前年)		為替影響
	1Q実績	1Q実績	額	率	額
売上高	2,939	2,878	△60	△2.1%	+1.2億円
営業利益	428	409	△19	△4.5%	+0.4億円
営業利益率	14.6%	14.2%	△0.4%	-	-

売上高内訳

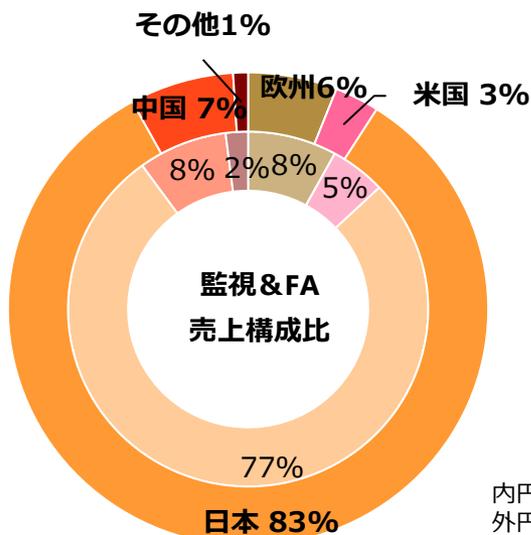
		24年 1Q実績	25年 1Q実績	増減 (対前年)	
				額	率
金額 (億円)	監視	13	16	+3	+27.5%
	FA他	5	5	+0	+4.6%
	TV会議	7	3	△4	△63.9%
	カメラモジュール	4	5	+1	+11.7%
数量 (万台)	合計	26	28	+2	+7.8%



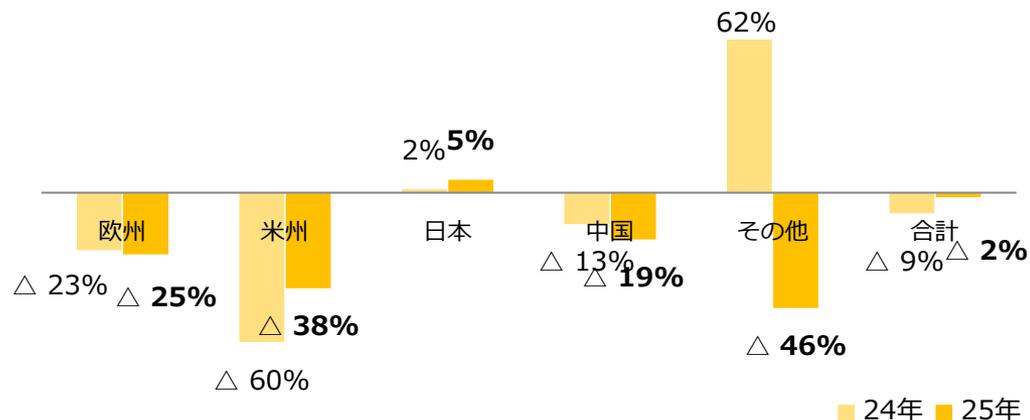
I - 4 . 2025年第1四半期セグメント別実績

② 監視&FA関連事業

拠点別売上構成比 (1月~3月)
(金額ベース)



拠点別売上増減率(対前年同期・円換算ベース)



I - 4 . 2025年第1四半期セグメント別実績

③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

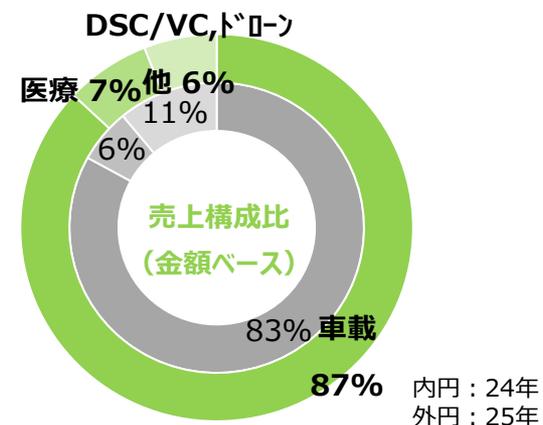
- ◆ 車載は安全運転支援システム（ADAS）普及による旺盛な需要を背景にセンシング用途中心に好調が継続。
- ◆ 育成分野の医療はラインナップ増加により**2桁の増収**
- ◆ 新規分野の育成を図りつつ、原価低減・販管費抑制により**利益・利益率ともに前年並みを維持**

(単位：百万円)

	24年	25年	増減（対前年）		為替影響
	1Q実績	1Q実績	額	率	額
売上高	2,935	3,003	+68	+2.3%	+1.3億円
営業利益	729	729	+0	+0.0%	+0.3億円
営業利益率	24.8%	24.3%	△0.5%	-	-

売上高内訳

		24年	25年	増減（対前年）	
		1Q実績	1Q実績	額	率
金額 (億円)	車載	24	26	+2	+7.5%
	医療	1.5	2.0	+0.5	+15.9%
	DSC/VC,ドローン他	3.5	2.0	△1.5	△41.8%
数量 (万台)	車載	273	257	△16	△5.7%



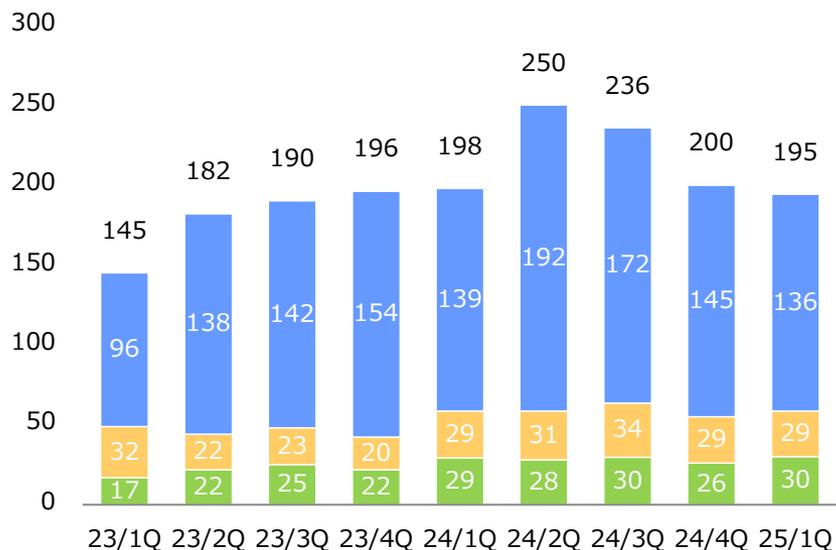
I - 4 . 2025年第1 四半期セグメント別実績

セグメント別 売上高・営業利益 サマリー

		(単位：百万円)										
		24年 1Q	前年 同期比 (%)	24年 2Q	前年 同期比 (%)	24年 3Q	前年 同期比 (%)	24年 4Q	前年 同期比 (%)	25年 1Q	前年 同期比 (%)	前期比 (%)
写真関連	売上高	13,944	+45.0	19,152	+38.7	17,228	+21.3	14,510	△5.8	13,569	△2.7	△6.5
	営業利益	4,019	+50.8	5,959	+55.2	5,263	+33.3	2,868	△19.3	3,803	△5.4	+32.6
監視&FA関連	売上高	2,939	△8.6	3,072	+38.6	3,403	+47.2	2,899	+42.0	2,878	△2.1	△0.7
	営業利益	428	+48.4	437	+52.6	578	+462.2	121	+222.6	409	△4.5	+235.7
比レティ&ヘルスケア その他	売上高	2,935	+73.6	2,809	+27.5	2,970	+18.3	2,609	+18.5	3,003	+2.3	+15.1
	営業利益	729	+156.3	630	+63.8	745	+46.8	371	+18.0	729	+0.0	+96.3
連結	売上高	19,819	+36.5	25,034	+37.3	23,602	+24.0	20,019	+1.9	19,451	△1.9	△2.8
	営業利益	4,547	+72.9	6,292	+63.6	5,892	+59.1	2,469	△27.9	4,235	△6.9	+71.5

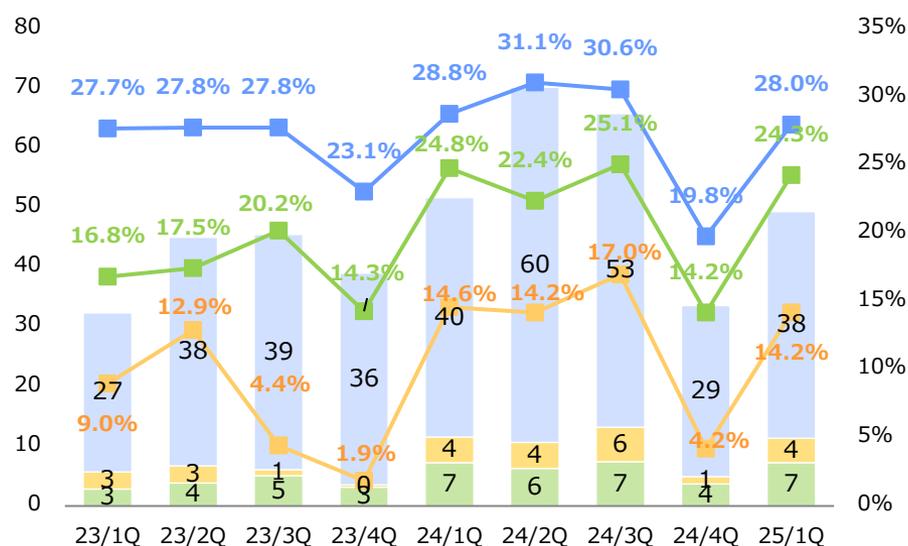
売上高

(単位：億円)



営業利益・営業利益率

(単位：億円)



Ⅱ.2025年 通期計画



II - 1 .米国関税措置による影響

当社グループの生産戦略：ベトナム第2工場稼働による日/中/越の世界三極生産体制強化

- ◆ 生産キャパの拡大
- ◆ リスク（地政学的リスク、関税リスク等）対応、安定供給体制の強化
- ◆ コスト対応力の強化

長期ビジョン「売上高1,000億円」に対応可能な生産体制を早期確立

①当社グループ生産能力

現状比 **1.2倍増**

②生産割合（金額）

	従来	2028年
ベトナム	約25%	約 45%
中国	約65%	約 45%
日本	約10%	約 10%

③中国部品調達率

現状 約30%
↓
25年以降 **20%以下**

直接的な4月以降の米国関税措置影響

※関税影響（コストアップ額）前提：4月以降の米国向け関税アップ率⇒日本+10%、ベトナム+10%、中国+145%継続

関税影響対象カテゴリー	米国向け売上高比率	生産拠点	生産割合 25年12月期	営業利益影響額 25年12月期
写真関連：自社ブランド 売上高構成比 約42%	約 18%	ベトナム	約 60%	△約 4.0 億円
		中国	約 15%	
		日本	約 25%	
監視&FA関連：監視/FA 売上高構成比 約10%	約 4%	ベトナム	約 25%	△約 0.3 億円
		中国	約 70%	
		日本	約 5%	
全社ベース	約 8%			△約 4.3 億円

関税措置をめぐる情勢は流動的でもあり、今後も様々な情勢を注視しつつ、影響の最小化を図るべく、選択しうる対応策を検討

⇒**上期・通期の業績予想は据え置き**：マクロ・販売等への間接的な影響は不透明も、原価低減や販管費抑制等により1Q業績は上振れ傾向で推移しており、今後も更なる原価低減推進や必要に応じた対応等を講じることで、直接的なコストアップ影響は吸収できる範囲

Ⅱ - 2 . 2025年通期計画

先行き懸念高まりや関税影響を見込むも、1Q業績の計画以上の進捗等にも鑑み、業績予想は期初予想から据え置き

(セグメント別・製品カテゴリー別には進捗・見通しに違いはあるものの、セグメント別・製品カテゴリー別も期初計画から変更なし)

経営環境

経済環境

- ◆ 2Q以降は、米国の関税政策による影響拡大や貿易摩擦の再燃、ドル安・円高の進行等、不確実性や景気減速等の先行き懸念は一段と高まり

市場環境

- ◆ レンズ交換式カメラ・交換レンズ市場は数量は横這いも、高付加価値品の堅調により金額は増加
- ◆ 都市監視等の底堅いセキュリティ需要により監視市場は安定成長化
- ◆ 車載市場はADAS伸長により引き続き好調に推移

当社業績

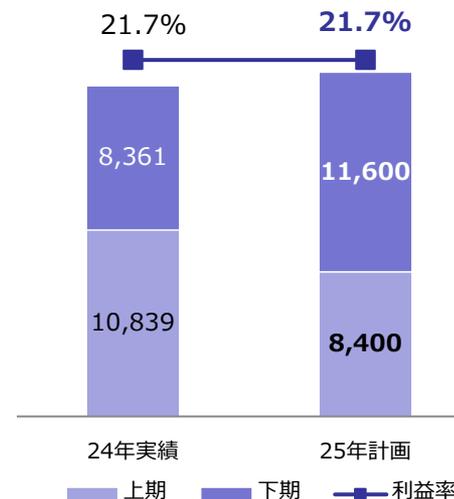
- ◆ 24年に対し円高前提、原材料高や対米関税等によるコストアップ、投資・R&Dの積極化等の影響もあるが、それらを吸収し**増収増益**
- ◆ **当社初の売上高900億円台、営業利益200億円台への到達**を見込み、上方修正した**新たな26年中期目標に向けて着実な成長**

(単位：百万円)	24年実績	25年計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	88,475	92,000	+3,524	+4.0%
営業利益	19,201	20,000	+798	+4.2%
営業利益率	21.7%	21.7%	+0.0%	-
経常利益	19,304	20,000	+695	+3.6%
経常利益率	21.8%	21.7%	△0.1%	-
当期純利益	14,526	14,800	+273	+1.9%
純利益率	16.4%	16.1%	△0.3%	-
ドル	151.69	145.00	△6.69	-
ユーロ	164.09	158.00	△6.09	-

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



※2Q以降前提 ドル：期初計画 145 ⇒ 今回 143、ユーロ：期初計画 155 ⇒ 今回 158

※年間前提 ドル：期初計画 145 ⇒ 今回 145、ユーロ：期初計画 155 ⇒ 今回 158

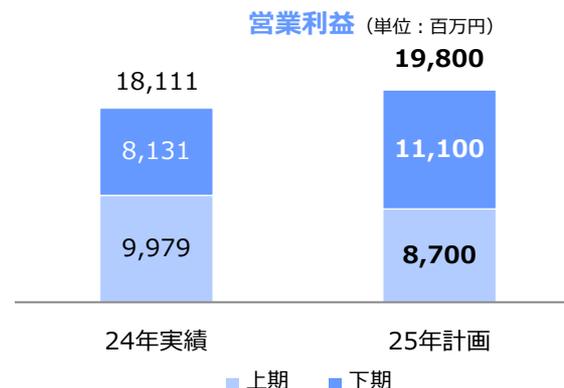
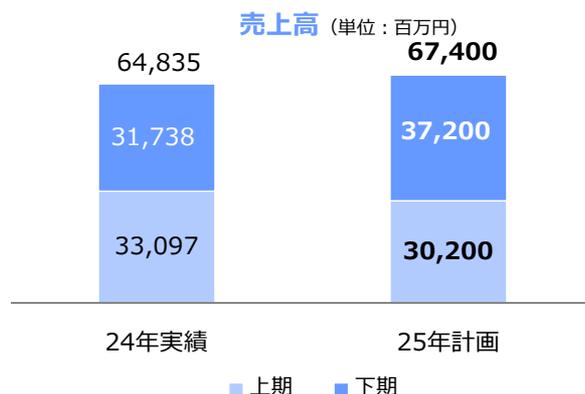
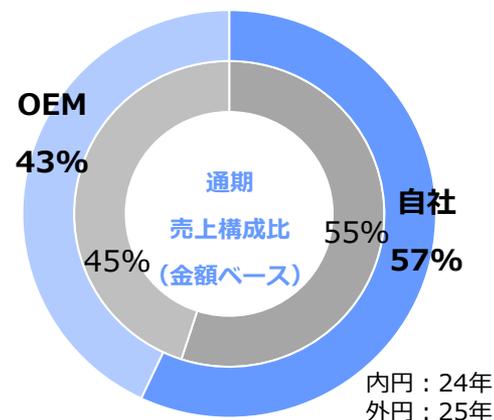
Ⅱ-3. 2025年セグメント別通期計画

① 写真関連事業

- ◆ 自社ブランドは24年に投入した新製品の年間フル寄与、25年の新製品投入効果により、**市場成長以上の増収**
- ◆ OEMも**増収継続**
- ◆ 自社ブランドの成長が牽引することにより、**利益率は更に向上**

	24年 通期実績	25年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
(単位：百万円)				
売上高	64,835	67,400	+2,564	+4.0%
営業利益	18,111	19,800	+1,688	+9.3%
営業利益率	27.9%	29.4%	+1.5%	-

売上高内訳		24年 通期実績	25年 通期計画	増減 (対前年)	
				額	率
金額 (億円)	自社	360	384	+24	+6.8%
	OEM	288	290	+2	+0.4%
数量 (万台)	自社	47	51	+4	+8.5%
	OEM	92	90	△2	△1.9%



自社ブランド新製品 投入状況

23年以前：年間5本程度 ⇒ 26年中期方針：年間6～7本 ⇒ 初年度24年にて年間7本達成 ⇒ 26年新中期方針：26年に年間10本投入へ

	22年		23年		24年		
ソニー Eマウント用レンズ 累計21本	9月発売  50-400mm F/4.5-6.3 VC VXD (A067)	10月発売  20-40mm F/2.8 VXD (A062)	10月発売  17-50mm F/4 VXD (A068)	10月発売  70-180mm F/2.8 VC VXD G2 (A065)	6月発売  50-300mm F/4.5-6.3 VC VXD (A069)	8月発売  28-300mm F/4-7.1 VC VXD (A074)	10月発売  90mm F/2.8 VXD (F072)
富士フィルム Xマウント用レンズ 累計4本	7月発売  17-70mm F/2.8 VC RXD (B070)	10月発売  150-500mm F/5-6.7 VC VXD (A057)	5月発売  11-20mm F/2.8 RXD (B060)				
ニコン Zマウント用レンズ 累計6本	9月発売  70-300mm F/4.5-6.3 RXD (A047)		9月発売  35-150mm F/2-2.8 VXD (A058)	10月発売  150-500mm F/5-6.7 VC VXD (A057)	4月発売  28-75mm F/2.8 VXD G2 (A063)	9月発売  50-400mm F/4.5-6.3 VC VXD (A067)	10月発売  90mm F/2.8 VXD (F072)
キヤノン RFマウント用レンズ 累計1本	25年 6機種を発売予定 夏頃発売予定   18-300mm F/3.5-6.3 VC VXD (B061)					12月発売  11-20mm F/2.8 RXD (B060)	
	ニコンZマウント用7機種目				キヤノンRFマウント用2機種目		

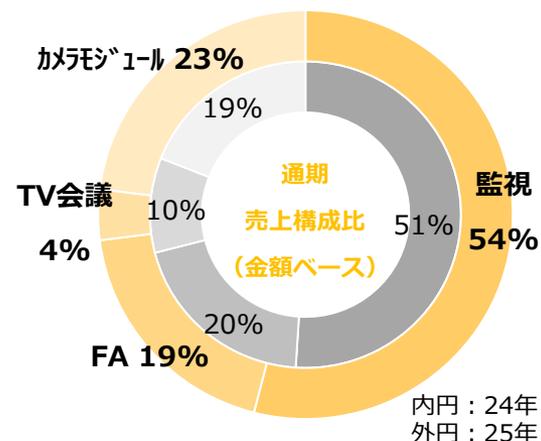
II-3. 2025年セグメント別通期計画

② 監視 & FA関連事業

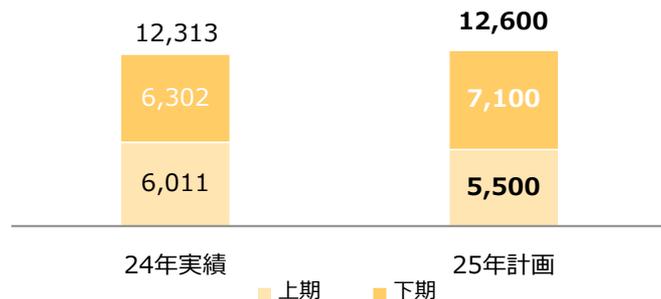
- ◆ 監視は客先における在庫調整の影響も解消し、市場の安定成長化を背景に**増収**
- ◆ カメラモジュールは好調の2023年投入の新機種、2024年3Q投入の新機種が年間フル寄与し、**1.2倍の大幅増収**
- ◆ 市場低迷のTV会議の減収や為替の影響、新規分野での開発費増により減益も、10%以上の利益率維持

(単位：百万円)	24年 通期実績	25年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	12,313	12,600	+286	+2.3%
営業利益	1,566	1,400	△166	△10.6%
営業利益率	12.7%	11.1%	△1.6%	-

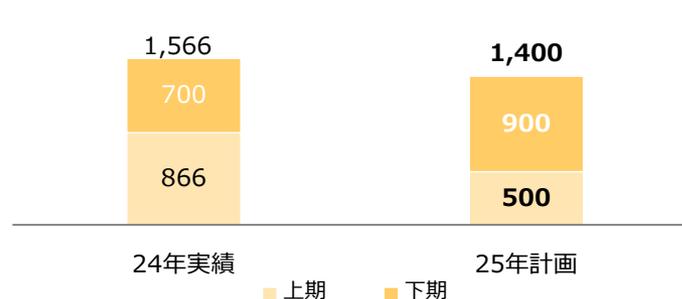
売上高内訳		24年 通期実績	25年 通期計画	増減 (対前年)	
				額	率
金額 (億円)	監視	63	68	+5	+7.7%
	FA他	24	24	△0	△0.5%
	TV会議	12	5	△7	△57.8%
	カメラモジュール	24	29	+5	+20.8%
数量 (万台)	合計	115	135	+20	+17.6%



売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



Ⅱ-3. 2025年セグメント別通期計画

③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

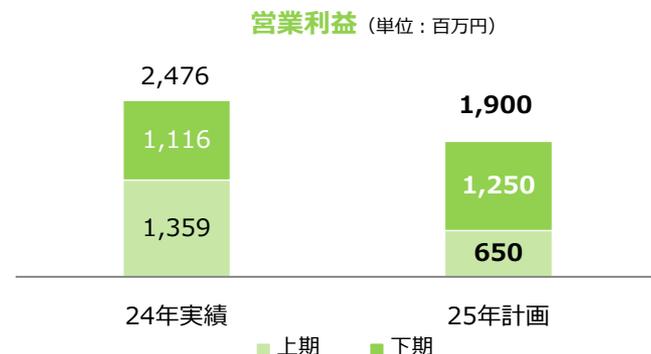
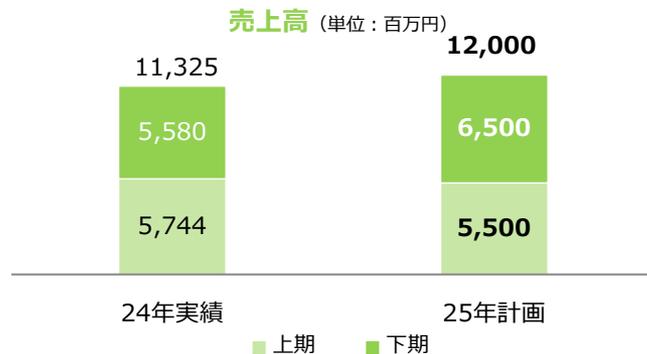
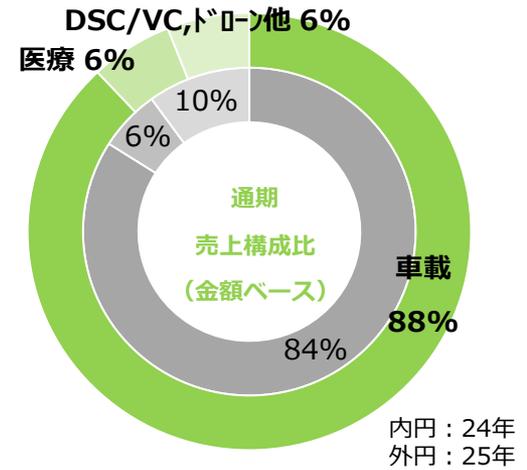
- ◆ 車載は高成長持続により、**2桁増収継続、100億円事業へ**
- ◆ 医療は着実なビジネス展開継続により**増収**
- ◆ コストダウン対応や為替影響、医療分野の育成、新規分野の要素技術開発強化により減益も、15%以上の高利益率維持

(単位：百万円)

	24年	25年	増減 (対前年)	
	通期実績	通期計画	額	率
売上高	11,325	12,000	+674	+6.0%
営業利益	2,476	1,900	△576	△23.3%
営業利益率	21.9%	15.8%	△6.1%	-

売上高内訳

		24年	25年	増減 (対前年)	
		通期実績	通期計画	額	率
金額 (億円)	車載	95	106	+11	+11.3%
	医療	6.7	7	+0.3	+4.4%
	DSC/VC、トヨタ他	11	7	△4	△38.0%
数量 (万台)	車載	1,049	1,112	+63	+6.0%



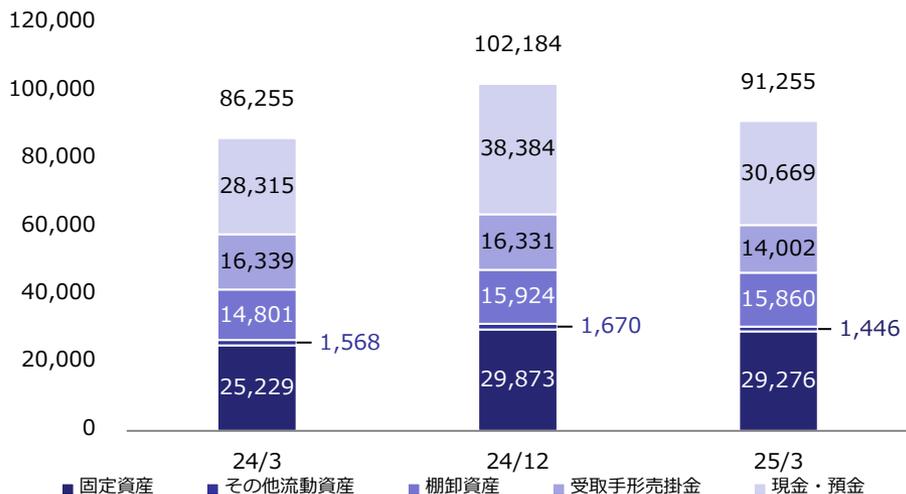
Ⅲ. 参考情報



Ⅲ-1. 財政状況

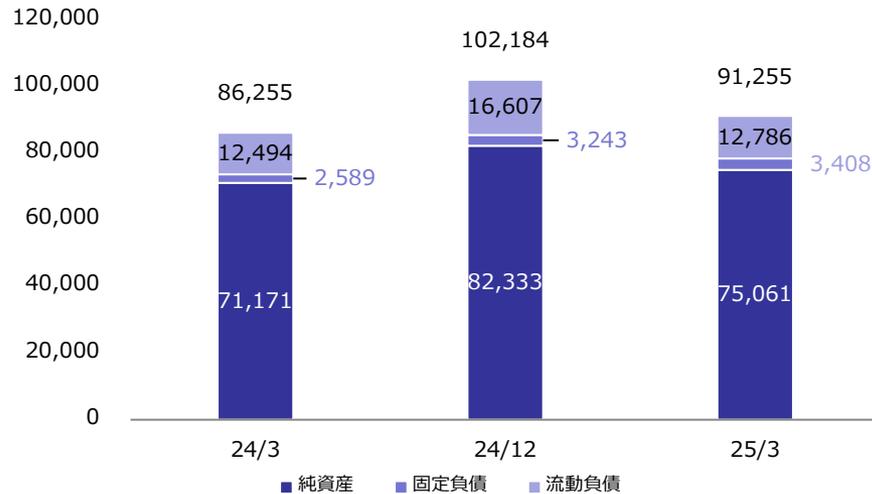
資産

(単位：百万円)



負債・純資産

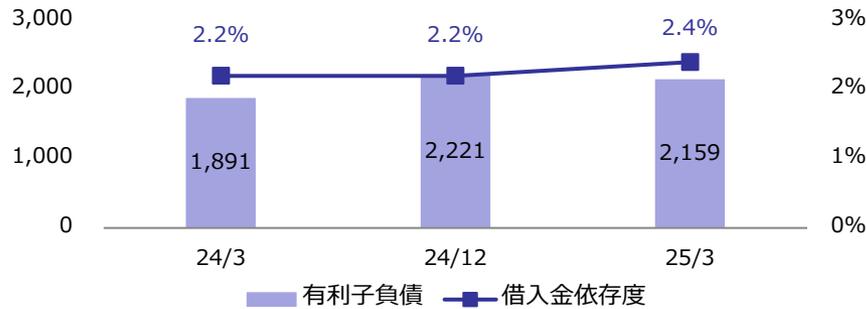
(単位：百万円)



棚卸資産



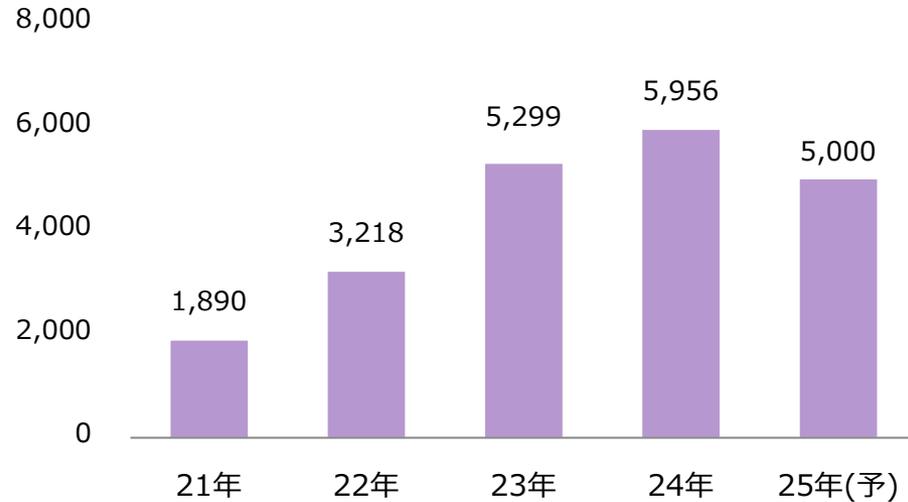
有利子負債



Ⅲ-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

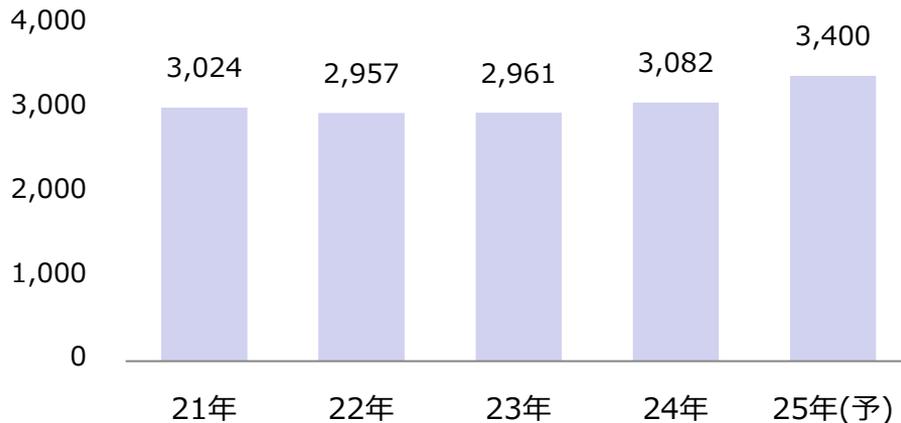
設備投資

(単位：百万円)



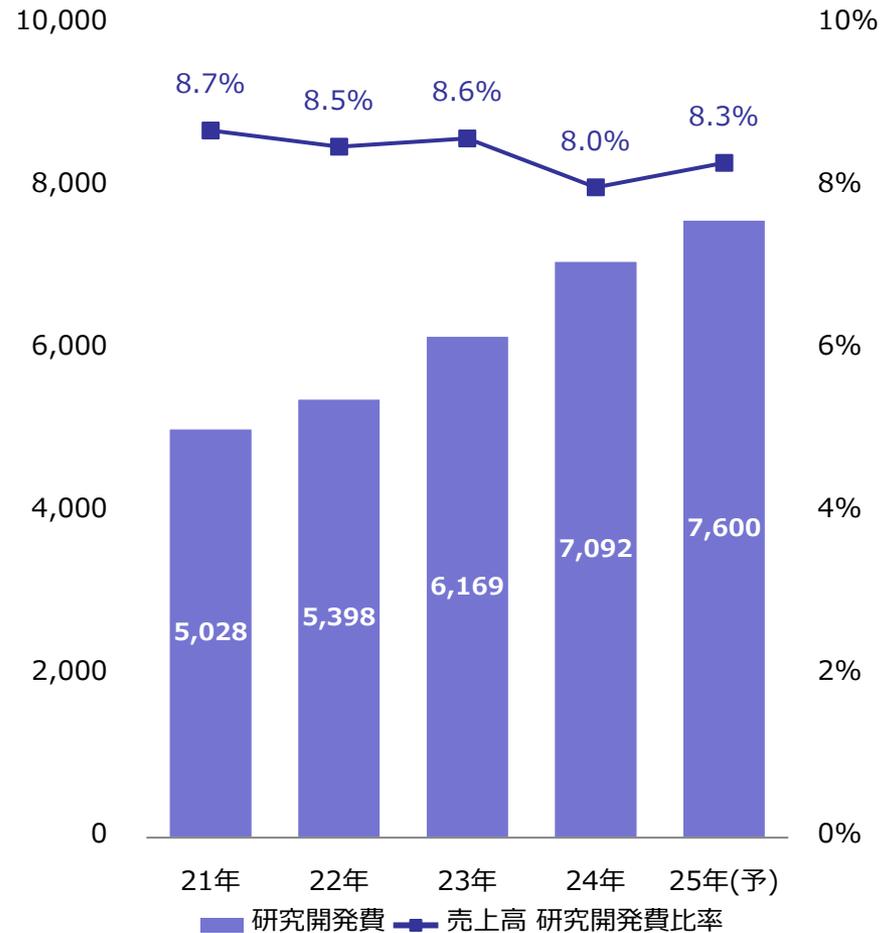
減価償却費

(単位：百万円)

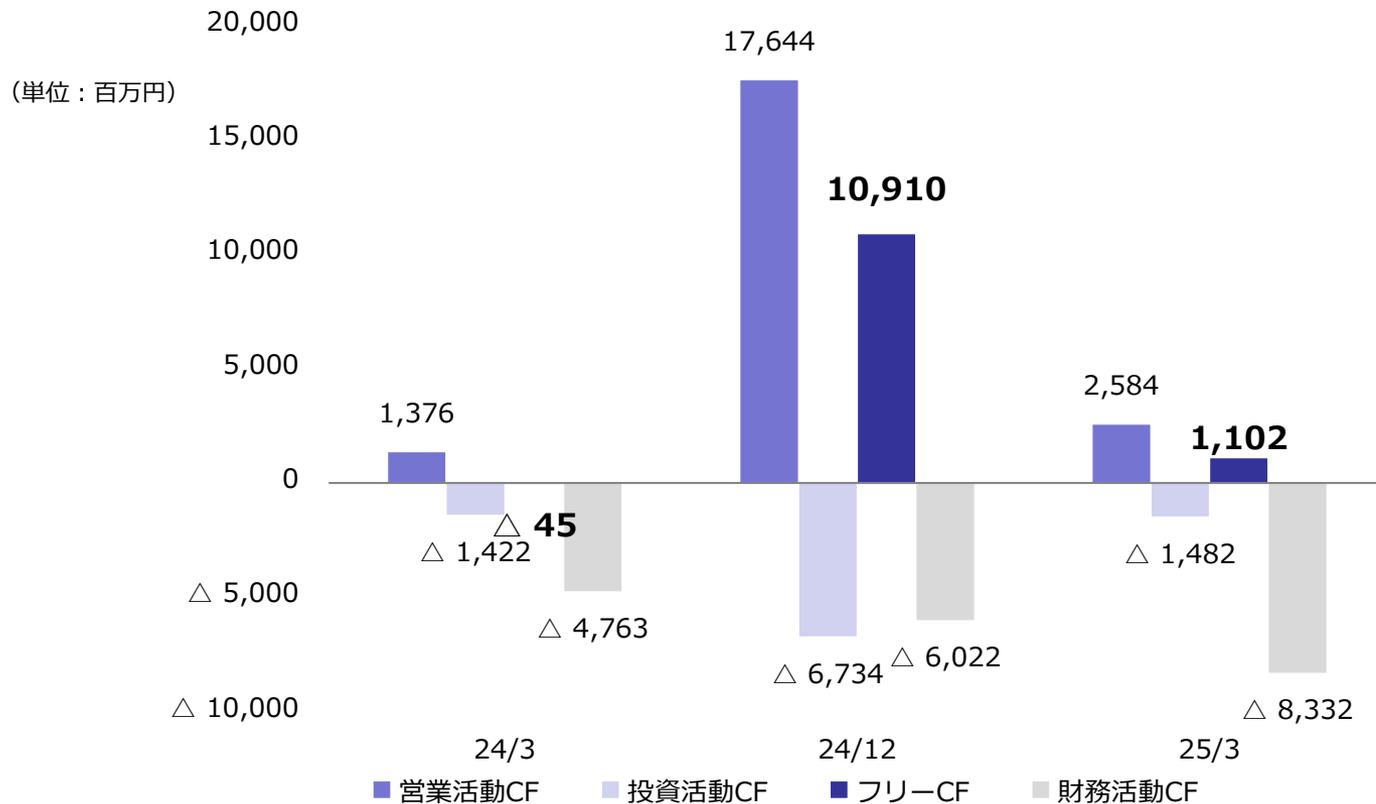


研究開発費

(単位：百万円)



Ⅲ-3. キャッシュ・フロー

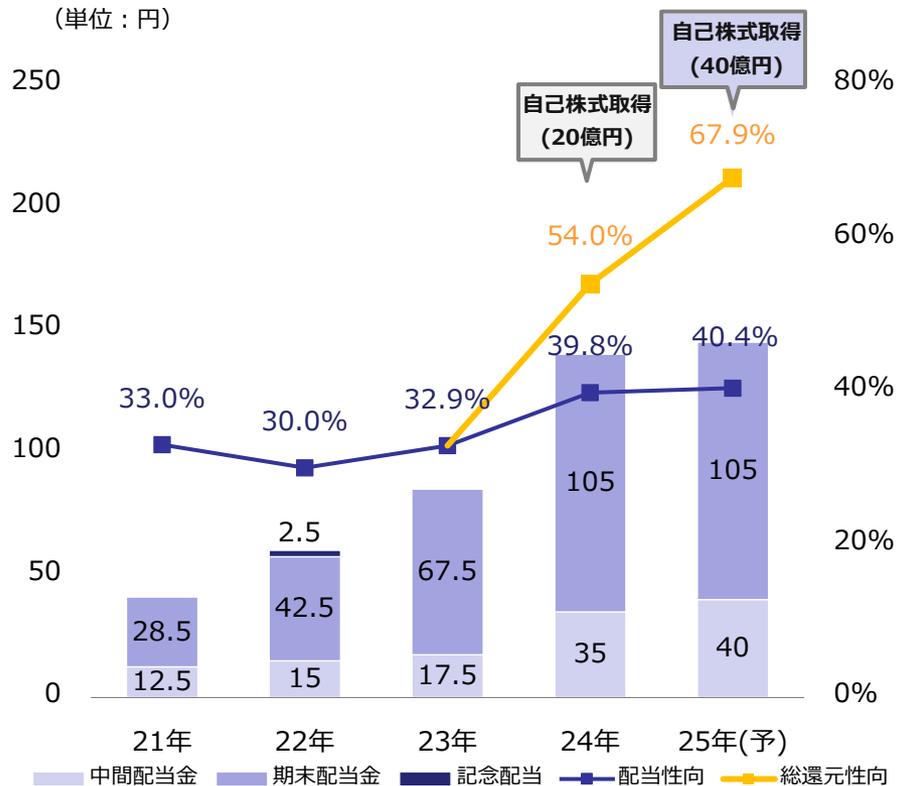


	24/3	24/12	25/3
営業活動CF	1,376	17,644	2,584
投資活動CF	△1,422	△6,734	△1,482
フリーCF	△45	10,910	1,102
財務活動CF	△4,763	△6,022	△8,332
現金及び現金同等物の 期末残高	28,315	38,384	30,669

Ⅲ-4. 配当金、主要経営指標

配当金推移

(単位：円)



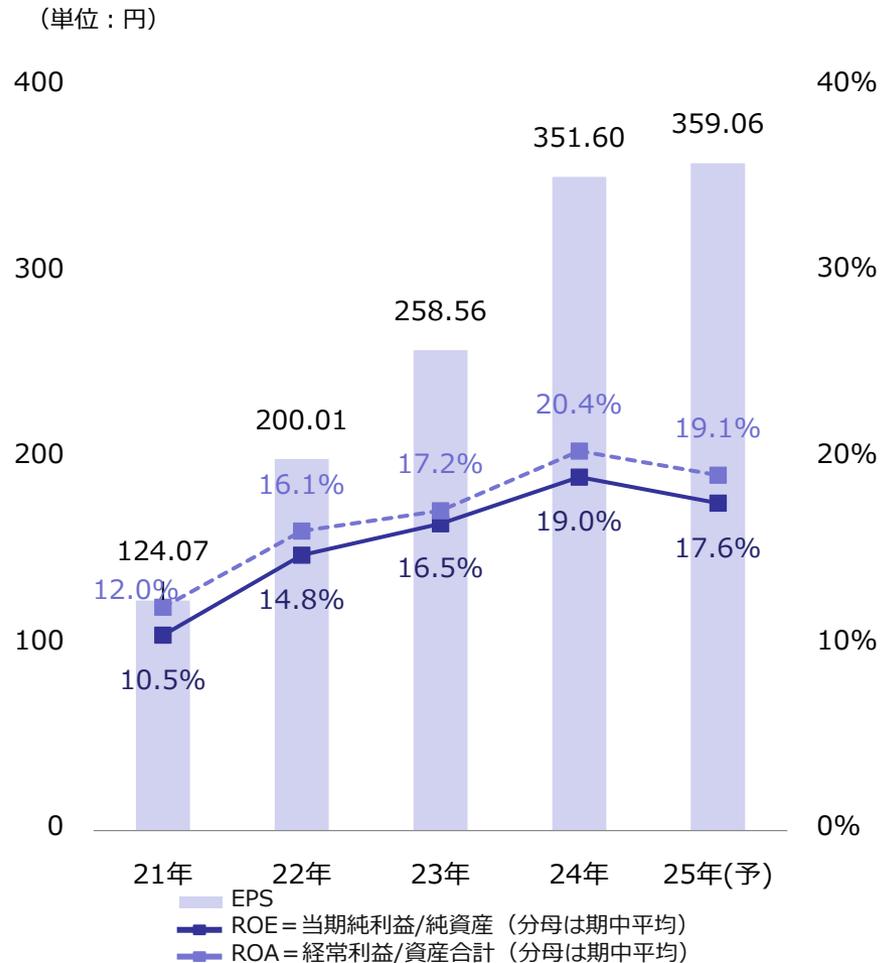
還元政策

- ◆ 配当性向40%程度 (年間配当金80円を下限に安定配当)
- ◆ 総還元性向60%程度を目安に機動的な自己株式取得実施

※2024年7月、1株につき2株の割合で株式分割を実施
配当金、EPSについては、当該株式分割調整後の数値を記載

主要経営指標

(単位：円)



Ⅲ-5. 為替影響

25年1Q為替影響額

	24年1Q実績	25年1Q実績	影響額	
			売上高	営業利益
USD/JPY	148.63	152.57	+4.8億円	△0.4億円
EUR/JPY	161.38	160.61	△0.1億円	△0.1億円
他通貨	-	-	+0.5億円	+0.4億円
合計	-	-	+5.2億円	△0.1億円

(前期実績に対する影響額)

為替感応度 (年間)

	為替レート 25年前提	1円の変動 (円高) による影響額	
		売上高	営業利益
USD/JPY	145.00	△4.0億円	△0.7億円
EUR/JPY	158.00	△0.6億円	△0.5億円

※2Q以降前提
 USD/JPY : 143.00
 EUR/JPY : 158.00



将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2025年12月期第1四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。